

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	盛岡ひまわり学園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		～	令和7年3月4日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携	日々の連絡帳で活動の様子や必要なことをやり取りしたり、大事な事、相談等には電話もしくは面談の機会を設け直接話をしたり、一緒に考えるようにしています。また、普段から話しやすいような雰囲気づくりを心がけるようにしています。	家庭からの困りごと等の相談に専門的な立場で適切なアドバイスができるように日々研鑽を積み、職員一人一人の質を高めていきたいと思っています。
2	他施設や地域のこどもとの交流	同じ法人内の保育園や近隣の保育園と年に3回程度、訪問する形で交流したり、当施設に来てもらうなどしてお互いに交流を図っています。また、年に一度、地域の子ども会（小学生）との交流会を行っており、各クラスに入って一緒に活動を楽しみながら交流する機会を設けています。	少しずつ外部との交流が再開していますが、コロナ禍以前は、ひまわり祭りやうんどう会にも地域の子ども会の児童（小学生）が参加し交流を楽しむ機会があったため、再開に向けて検討していきたいと思っています。
3	個別支援計画に保護者の願いや意向が反映されている	個別支援計画を作成するにあたり、児童に対する保護者の願いや意向を聞き取りしたうえで話し合いながら目標を設定しています。家庭でも取り組める事に関しては双方で共有し、一緒に取り組み、達成状況について確認しています。	保護者の思いに寄り添い、丁寧な聞き取りを行っていきます。達成状況についても定期的に確認したり情報共有をしていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化	築39年と建物自体が老朽化しており、最小限の修繕や補修をしながら使用しています。（大がかりな修繕等は予算の都合上無難しい実情があります）エレベーターと一部の床は令和3年の移譲の際に新しいものに変えていただいています。他は特に水回りに関しては、寒い冬でも水で手を洗っている状況です。	様々な障がいや特性のある児童への対応として、環境を整えたり構造化が必要になってきますが、今の建物の中で出来ることは限られてくるためである範囲で工夫しながら対応していく必要があります。経年劣化による建物の破損箇所もあるので、安全に生活することができるよう日々の点検や補修を怠らないようにしていきたいと思っています。
2	他事業所との連携、地域全体の質の向上に対する取り組み	関係のある保育園には研修の案内を出し始めたところですが、他の事業所等に関しては今後進めていく必要があると思っています。また、スーパーバイズに関しても今後の課題です。	センターとして、職員一人一人の質の向上と底上げを早急に行っていく必要があります。積極的に様々な研修に参加し専門的な知識を深めつつ、他の施設や事業所を視察、また、頻繁にケース検討会を行い柔軟な対応力を身につけていきたいと思っています。
3	保護者に対する研修の機会や情報提供などの推奨	親子通園では保護者学習会を定期的に行っていますが、学園としても研修会を開催できるよう職員体制や時期等検討していきたいと思っています。	内容等に関しては保護者にアンケートを取りながら、ニーズに応じた提供ができるようにしていきたいと思っています。また、継続性のある体制を構築していく必要があると思います。